

3ひまわり学園(引野・若松・到津) 新規採用職員合同研修会を開催しました

3園の新規採用職員・異動職員10名(年度途中入職者1名)が集まり、第2回・第3回合同研修会を開催しました。5月から開始した研修会ですが、6月は各園での就学相談に向けての準備や学校見学などで忙しいため、7月からの再開です。

第2回(7月10日)は、「インリアルアプローチについて」と題し、親子通園などで療育経験が豊富な西田療育相談員(元きらきら通園長)に講演いただきました。

参加した職員からは、「大人主導型と、子ども主導型の違いについての話が印象に残りました。大人が反応的に関わっていくことの大切さが分かりました。」や「大人の関わりが子供のコミュニケーションに深く関わってくることや言語的心理学技法というものを初めて学ぶ事ができました。」など、子どもへの対応を考える内容は、具体的で分かりやすかったようです。また、研修中にもゲームを取り入れて交流を深めるなど、笑い声も響くなど楽しい研修会となりました。

第3回(7月31日)は、「行動の見方(行動分析)」と題し、引野ひまわり学園の清水主任(前園長)に講演をいただきました。

参加した職員からは、演習で「行動を観察可能で測定可能な用語に置き換えるという作業が特に印象に残った」という意見が多く聞かれ、行動分析という難しい内容を大変わかりやすくお話しいただきました。演習が多く、講師から指名さ

れる緊張感がありながらも、他の仲間の意見を聞くこともいい経験になったようです。

この研修は、園内での基礎研修とは別に、児童発達支援センターで働く上で知っておくべき専門知識や情報を共有することを目的としており、8月は幼児期に特化した内容で外部講師を招いてご講演いただく予定です。

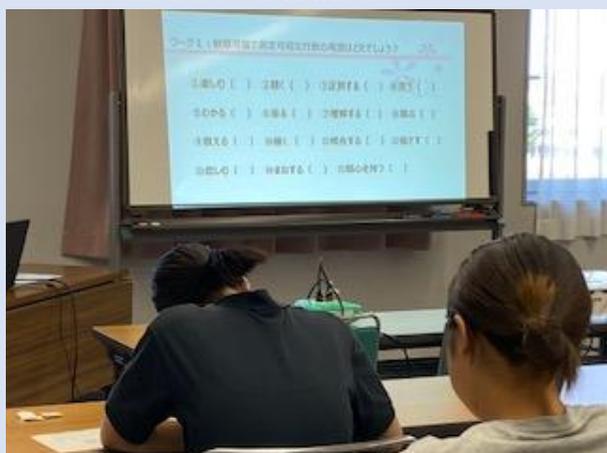
今後も専門家の知見を活かしながら、より充実した研修を行い、職員の知識と実践力向上を目指していきます。



「インリアルアプローチについて」
講師：西田療育相談員



「行動の見方(行動分析)」
講師：清水主任



令和7年度研修会の内容（過去実施分）

●第1回（令和7年5月29日）

「障害特性を知る」

講師：発達障害者支援センター
金光センター長

